

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ナノデス・スーパーグラスプ	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.501	△RG 0.045	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ナノデス・スーパーグラスプ

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

番

4in MB

比較対照ボール：ナノデス・グラスプツアーエディション

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

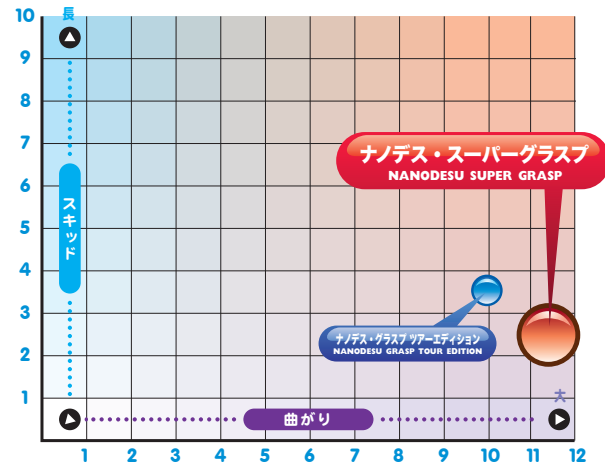
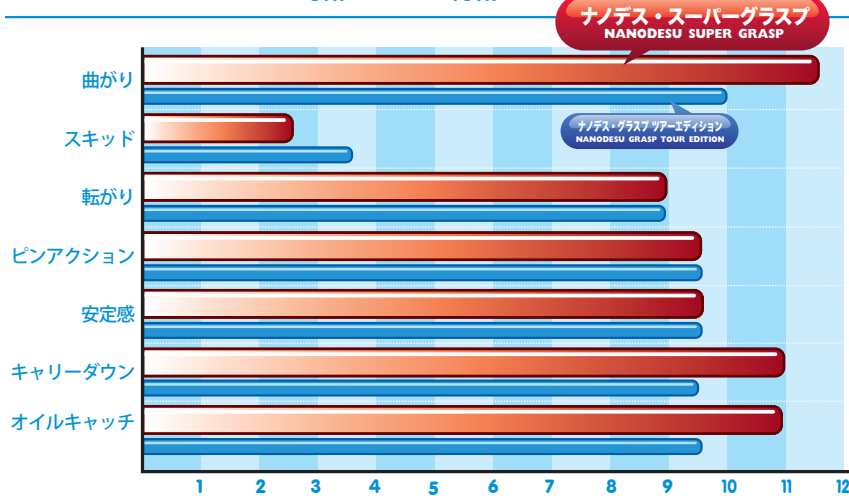
PAPからピンとの距離 インチ

番

4in MB



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

日本の匠製法を担う日本エボナイト社は、オイル系からドライ用のボールまで幅広い領域のボールを手掛けていますが、その中で最もオイルが多い時に使用できるボールに位置付けられているのが、今回ご紹介するNANODESU SUPER GRASPです。今までツアープレミアムシリーズやアキュシリーズに採用されていたActine添加剤を吸油性の高いNano-ThaneのSolid素材に混入させ、GRASP史上最強のキャッチと曲がりの大きさを感じられるボールとなりました。Actine添加剤の恩恵はSolid素材の性能を格段にアップさせ、おのずと知れたオイルの強さと同時にバックエンドの強さまで引き出すことができ、その性能はこれまでのGRASPシリーズをワンランク上げた、キャッチと動きの大きさで表現されています。もう一つは日本エボナイト社で初めて扱うSIAAIR VELVET サンド仕上げという加工です。表面の粗さを非常に滑らかにしながら凹凸をしっかり作る加工は、アブラロンと凹凸は変わりませんが仕上がりが滑らかなので、手前の余計なエネルギーロスを最小限にしながらキャッチさせ、バックエンドにボールの動力を温存できるようになった画期的な仕上げです。

比較はGRASP3と行いましたが、プレーキ感は圧倒的にSUPER GRASPのほうが上回り、手前が薄めのオイルではかなり噛み上がり感が早く感じました。GRASP3の投球ラインではMidですでに左へ曲がってしまうので、私で2~3枚内からGRASP3のラインに合わせる感じで投球しましたが、それぐらい中目でも十分戻り感があり、入射角まで足りました。キャッチ系のボールは手前を強くすると、それに応じて奥の動きが弱まる傾向があるのですが、SUPER GRASPはその両立がコンセプトになっているので、多くの方にヘビーオイル用の新たな武器と感じて頂けると幸いです。

特記事項

圧倒的なオイルに対する強さは歴代GRASPの最高値で、手前のオイルに対する強さを求めながら奥の動きを持続できるようにしたヘビーオイル領域の中でも唯一無二のボールです。